

特集 心臓核医学検査



循環器内科部長
長島賢司

〔冠動脈疾患とは〕

心臓核医学検査は主に冠動脈疾患の診断に用いられます。冠動脈は心臓の筋肉に栄養や酸素を運ぶ血管です。冠動脈疾患には大きく分けて心筋梗塞と狭心症があります。狭心症とは、冠動脈が動脈硬化のために狭くなって心臓の筋肉が酸素不足になった状態です。心筋梗塞とは、冠動脈が閉塞して血液が流れなくなった状態です。冠動脈が閉塞すると酸素の供給が途絶えるため、その血管で栄養されていた心臓の筋肉細胞は死んでしまいます。心筋梗塞になると心臓の働きが悪くなり、心不全や不整脈を起こすことがあります。これらは死に至ることもある危険な病気です。

〔核医学検査とは〕

Tl-201(タリウム)やTc-99m(テクネチウム)といった放射性医薬品(アイソトープ)を注射し、生体への取り込みを特殊なカメラで撮影することによって種々の臓器の機能や代謝をみる検査です。心臓の検査に使うアイソトープは数種類ありますが、それら全てを心臓核医学検査と総称しています。

〔心臓核医学検査でわかること〕

狭心症などによる心臓の酸素不足を虚血といいます。早足で歩いたり階段を駆け上がった時などに、胸の痛みや締め付けられるような不快感を感じる時は、狭心症が疑われます。また、強い胸の痛みが長い時間続くときは、心筋梗塞の症状かもしれません。心臓に虚血があるかどうかを調べるために、運動負荷をかけて心臓核医学検査を行います。運動負荷心電図検査もよく行われる検査ですが、心臓核医学検査のほうが診断性能が優れています。虚血を起こした心臓の部位にはアイソトープが取り込まれませんので、虚血の有無と、もし虚血があればその場所や範囲まで判定可能です。アイソトープの取り込みのパターンから狭心症か心筋梗塞かの鑑別もできます。また、十分に運動のできない患者さんには薬物を使って虚血を調べる方法もあります。

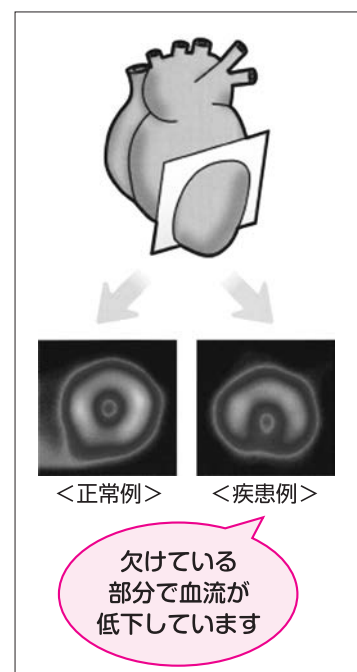
〔心臓カテーテル検査と組み合わせる〕

冠動脈に動脈硬化による狭窄や閉塞があるかどうかを直接判定するには心臓カテーテル検査が必要です。ただしカテーテル検査は入院が必要ですし、体の中にカテーテルを入れる検査なのでまれに合併症を起こすことがあります。狭心症の可能性がどの程度あるかにもよりますが、まず心臓核医学検査を行って、その結果狭心症が疑われたら心臓カテーテル検査を行います。また心臓カテーテル検査と心臓核医学検査を組み合わせることによって、心臓のどの部位にどの程度の虚血があって、どの血管に治療の必要性があるのかも判定できます。

〔最後に〕

次のような方は一度循環器科でご相談ください。

- ①胸の痛みや不快感などの症状がある。
 - ②心電図異常を指摘された。
 - ③過去に狭心症や心筋梗塞の治療を受けていて最近検査を受けていない。
- 冠動脈疾患は命にかかわる病気です。早めの受診を心がけましょう。



糖尿病療養支援チーム「ダイサポ」の紹介

糖尿病療養指導士
木村繁和・久松 香

岐阜赤十字病院では、平成22年から糖尿病療養支援チームの名前をDiabetes Support Team(ダイアベティス サポート チーム)、通称「ダイサポ」と命名し、初心に戻り、チームの結束力アップのため新たなスタートを切りました(写真①)。

元々、当院では15年以上も前から、糖尿病患者さんを対象に糖尿病教室を毎月開催し現在に至っています。当時より糖尿病教室の講義は、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・臨床検査技師の各職種が担当しており、糖尿病療養支援チームは現在のチーム医療の原点とも言えます。

近年、院内に様々な医療チームが存在し、各職種の専門的立場から患者さんのための治療活動を行っています。この医療チームの活躍の中で、チーム医療が当たり前の糖尿病療養支援がチーム医療を十分に発揮できていない現状がありました。そこでチームのメンバーを再結集させ、チーム一丸となって糖尿病患者さんのための療養支援を展開するために、ダイサポとして再始動しました。ダイサポの主な活動として以下の活動があります。

- ①糖尿病教室での集団患者指導
- ②個別の患者指導
- ③院内職員に対する広報・サポート報活動

最近のダイサポ活動としては、平成22年11月に「第1回健康生活セミナー：食べよう、学ぼう、運動しよう Let's study糖尿病」を開催しました。このセミナーは、毎年11月14日の世界糖尿病デーにちなんで、当院通院中の患者さんを対象に、糖尿病の学習を楽しんでいただきたいとの思いを込めて企画しました。その活動風景を紹介します。(写真②③)。



ダイサポチーム(写真①)

石森医師による講演とメンバーによるフットケア・

自己血糖測定・運動療法の実践などで、何といたってもメインは、バイキング形式での食事療法の実践です。食事バイキングでは患者さんが「食べてはいけない」から「これだけ食べられる」という事を理解してもらいました。そして参加した患者さんからは「今日から一層努力できる気がする。継続してセミナーを企画して欲しい」という意見も頂き、ダイサポとして出来る事から始める事が大切であると感じました。患者さんに積極的に関わり、患者さんに寄り添うことのできるチームに成長していきたいと思います。

最後になりますが、ダイサポはチーム医療を実践し少しでも糖尿病の合併症で苦しむ患者さんが減るよう頑張りますので、患者さん及び連携医療機関の職員の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。



(写真②)

「第1回健康生活セミナー：食べよう、学ぼう、運動しよう Let's study糖尿病」



(写真③)

医師紹介



総合内科 岡田 英之

岐阜大学総合内科から来ました岡田です。頑張りますのでよろしくお願いいたします。

連携医療機関

佐久間耳鼻咽喉科



院長 佐久間伸二



所在地	〒502-0903 岐阜市美島町3丁目21-1 TEL.058-231-6974						
診療科目	耳鼻科、アレルギー						
休診日	水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日						
診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	△
午後4:00~6:30	●	●	△	●	●	△	△



当院は花粉症などのアレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、難聴、耳鳴り、めまい等の一般耳鼻咽喉科疾患の他、風邪による鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳も診察いたします。またアレルギー性鼻炎に対するレーザー治療、睡眠時無呼吸の検査、補聴器に関する相談などにも応じております(詳しくはホームページを)。私は昭和38年に開業した父の後を平成7年に継承、平成17年にはリニューアルしベビーカーや車いすのままでも安心して利用できるよう床をバリアフリーに、また当院での待ち時間を短縮するための再診時の自動電話受付も導入しております。子どもさんが退屈しないようキッズコーナーもあります。地域の皆様に信頼される医療機関として発展を遂げられるよう地元の病院と連携しスタッフ一同ますます精進していきます。

細野 医 院



院長 細野芳男



所在地	〒502-0814 岐阜市福光西3丁目9-13 TEL.058-233-6620						
診療科目	内科、外科、整形外科、胃腸科 肛門科、リハビリテーション科						
休診日	木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日 岐阜祭、道三祭						
診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	●	●	●	△	●	△	△
午後4:00~7:00	●	●	△	●	●	△	△



<資格>
・大腸肛門病学会専門医
・日本外科学会専門医 他

当院はH5年10月、地域の皆様の健康増進に貢献すべく、今までの内科・外科(胃腸・小児・脳神経・整形一般)・小児科・皮膚科・泌尿器科及び大学病院や救急指定病院勤務等の経験を生かし、より高度な医療を提供できる「かかりつけ医」をめざして開業いたしました。胃カメラ・大腸カメラ・エコー・心電図等の検査、内視鏡的ポリープ切除、皮膚腫瘍、腱鞘、痔核等の手術、リハビリ、健康診断などの診断・治療・手術を行っています。

当院では地域の病院と連携しより高度で専門的な検査や治療が受けられる様にすみやかに紹介しております。これからも地域の皆様の健康増進を願って地域医療に貢献してまいります。

～ かかりつけのお医者さんの紹介状をお持ち下さい ～

かかりつけのお医者さんの紹介状があると、患者さまの病気の経緯や服薬の内容などがよく分かり、診療がスムーズに行えます。かかりつけのお医者さんをお持ちになりたい方は、当院医師から紹介させていただきますので、お気軽にお申し出下さい。

紹介予約
受付時間

月～金曜日 午前9時～午後7時
土曜日 午前9時～午後0時30分

紹介状をお持ちの方は地域医療連携課にて
予約を承っております。

新患受付方法

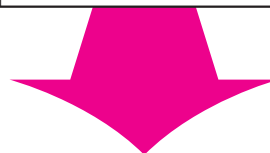
理念

人道、博愛の赤十字
精神のもとに
信頼される医療を
行ないます

基本方針

1. 患者さまの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づいた患者さま中心の医療を行います
2. 日々、医療水準の向上をめざし、良質の医療を提供します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護と国際救護活動に貢献します
5. 地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療を提供します
6. 地域の医療従事者の教育・研修の推進と地域の皆さまの健康づくりに貢献します
7. 健全経営に努め、その成果を医療活動を通して地域に還元します

紹介状無し	紹介状有り	紹介状+予約有り
④番 初診窓口で受付をして下さい		
受付時にご提示いただく書類		
保険証	紹介状 保険証	



受付後、
各科外来受付へ

※予約のない患者さんは8時30分から11時に受付をお済ませ下さい。

※紹介状のある患者さんも初めてお越しの際は、④番初診窓口にて受付をお願いします。

※ご不明なことがあれば、②番総合案内にお気軽にお尋ね下さい。

※紹介状の無い患者さんは、保険外併用療養費として、1,570円がかかります。

紹介状のある方の予約受付は下記へ連絡願います。

代表電話 058-231-2266

[地域医療連携課：内線2127・2128]

○月～金 9:00～19:00

○土曜日 9:00～12:30

17時20分以降・土曜日は1人で対応を行っております。電話が込み合っている場合、ご迷惑をお掛けいたしますがご了承下さい。



岐阜赤十字病院

〒502-8511 岐阜市岩倉町3丁目36番地
TEL 058-231-2266(代)
FAX 058-233-7772

地域医療連携課TEL 058-296-5550, 058-296-5551

休日・夜間受付用FAX 058-231-3132

地域医療連携課FAX 058-231-3026

ホームページ <http://www.gifu.jrc.or.jp/home/gifu-med/>

Eメール gifu-med.renkei@gifu.email.ne.jp

受付時間 午前8時30分～11時00分(午後は予約制)

休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)、

創立記念日(5/1)

※救急の場合はこの限りではありません

岐阜日赤ニュース第35号をお届けします。今回は「心臓核医学検査」について特集しました。

次回は平成23年4月に発行予定です。

引き続きご愛読いただきますようお願い致します。

当院へのご意見、ご要望をお寄せ下さい